

おはつら

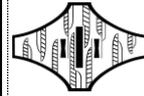
令和2年12月16日(水) 第40号 (発行者 校長 遠藤 修)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



ICT環境整備 着々と



先週の月曜日、各教室に電子黒板が設置されました。2学期に入って、授業で1人1台使えるタブレットと校内無線LANが導入されるなど、学校のICT環境の整備が進んでいます。

新しい学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力や問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る」ことが明記されています。また、小学校ではプログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において積極的にICTを活用することが想定されています。



タブレットを使った授業 (ICT支援員とともに)

ICTとは?

「インフォメーション&コミュニケーションテクノロジー」

通信技術を活用したコミュニケーションを指します。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービス全体を意味します。

そこで、文部科学省では、2022年までの5カ年計画で児童が1人1台で学習できる学習者用コンピュータや大型提示装置・実物投影機、超高速インターネット等を整備するとともに、4校に1名のICT支援員の配置を進めています。

ICT機器によって、音声を含む映像資料の利用が容易になるほか、遠隔地の児童とのリアルタイムでの意見交流も可能になるのではないかと期待しています。今後、教職員の研修の機会を設け、授業での積極的な活用を図っていきたいと考えます。

矢大臣山 秋の植物図鑑 ～続報～

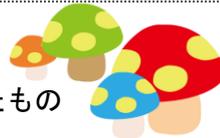
矢大臣山の植物調査のまとめでは、きのこ図鑑と格闘してみたものの、写真だけでは種類を特定することが困難でした。

そこで、専門家の力を借りることに。新潟県でマイタケを生産している企業の研究室長で、日本きのこ学会の役員をされている方に、協力をお願いするメールを送りました。

いただいた返信メールには、きのこの種の同定には、かさの表面だけでなく、胞子を出すヒダの部分や軸の形状、周囲の環境などたくさんの情報が必要であること、写真だけで判別するのは専門家でも難しいことが書かれていました。

それでも、きのこに注目してくれたことが嬉しく、もりあげ隊の活動に協力したいと書き添えてあり、子ども達は大喜びでした。

さっそく写真を送って分類をお願いしました。大きく一歩前進です。



なんて素敵なピアノと



16日(水)、桶売小・中学校体育館で川前方部小中学校合同の音楽鑑賞会を行いました。

今回来ていただいたのは、川前方部中学校で音楽を指導されている2人の先生とそのお仲間、計4名からなる「ピアノ」のみなさんです。グループ名の通り、児童に馴染み深い「鍵盤ハーモニカ(ピアノ)」と「リコーダー」でアニメの主題歌からクラシックまで、アンコールを含めて計8曲を演奏してくださいました。

リアルタイム線量測定システムの数値 (校庭)

0.090 μ SV/h 12/16 8:20

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

